



「第11回全国高校生介護技術コンテスト」 実施規則

1 実施方法

- (1) 競技内容 課題に対する介護技術及び説明を競う。
- (2) 競技時間 課題検討 25分 競技 7分 説明 2分
- (3) 課題 「A 移動の介護 B 排泄の介護 C 身じたくの介護 D 食事の介護」のうち、A～DまたはA～Dを組み合わせたものとする。
※課題の状況設定の詳細は、9月下旬に出場校に連絡する。
- (4) 出場資格 全国の高等学校で福祉を学ぶ生徒
※1 チーム同一校 選手3名（うち競技者2名）、各ブロックの代表校1校（九州ブロックは2校）、前回優勝ブロック1校、開催県1校の計12校
- (5) 利用者役 栃木県福祉施設に勤務する介護福祉士（審査員）とする。

2 審査方法

- (1) 審査対象 課題に対する介護技術と説明を総合的に審査する。
- (2) 審査員 高等学校の福祉教育に理解の深い学識経験者をもって充てる。
審査委員長と、1競技に審査員2名及び利用者役審査員1名で審査にあたる。
- (3) 審査 別途作成するチェックリストに基づいて行う。

3 表彰

最優秀賞 1校 優秀賞 2校 奨励賞 9校

4 競技場の注意

- (1) 選手の服装は、各学校指定の実習服等と介護用シューズとする。
- (2) 競技は会場に準備された物品を用いて行うこととし、その他の物品を会場へ持ち込むことはできない。
- (3) 選手は、競技中一切の指導助言を受けることはできない。また、何人も選手に対して指導助言を与えてはならない。
- (4) 競技中の選手の交代はできない。また、審査員の許可なく会場を離れた場合は、失格とする。
- (5) 競技は2校同時に実施し、競技順は令和6年10月26日（土）に抽選により決定する。
- (6) 審査員は開催県が選出する。

5 日程

- (1) 令和6年10月26日（土） 15：00～16：00 事前説明会
- (2) 令和6年10月27日（日） 9：30～15：30 開会式、コンテスト、閉会式